

Rotary District 2620 よいこのため手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツオ氏

# Weekly Bulletin

## 藤枝南ロータリークラブ 会報

例会: 毎週金曜日  
会場: 小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
TEL: 054-641-3321

2025-26 年度  
会長: 鈴木寿幸 副会長: 桑原 茂 幹事: 加藤智之 副幹事: 杉浦 聰

事務局: 藤枝商工会議所内  
TEL: 054-646-3919 FAX: 054-643-2000  
E-mail: jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

### 例会 第 1624 回 通常例会/小杉苑

ソング: 君が代、奉仕の理想 ソングリーダー: 森下傑君

#### 会長挨拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会にご出席いただきありがとうございます。本日は、米国・フロリダ州オーランドで開かれた「国際会議」に出席されました。若林ガバナーエレクトより「国際会議報告」がありますので、大変楽しみしております。

2026 年になり、通常例会での初めての会長挨拶となります。

会長挨拶は、1 月の月間テーマ「職業奉仕月間」についてお話をさせていただきます。

ロータリーにおける職業奉仕とは、簡単に言うと「自分の仕事を通じて社会に奉仕すること」を指します。高い倫理観を持って他者の利益を優先し、職業を通じて社会に良い影響を与えることを理想としています。

国際ロータリーでは「ロータリーの樹」という例えで、奉仕活動を説明しています。

「根」となるものは、「クラブ奉仕」親睦と助けあいです。会員が「奉仕の理想」を学んでロータリアンへと成長するための基盤です。

「幹」となるものは、奉仕の理念「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリー

の行動規範が、幹となります。「枝・葉」は、「職業奉仕・社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕」の活動を指します。「花」は、ロータリー財団となります。この構造から「枝・葉」の部分である「職業奉仕」がロータリーの重要な柱であることが理解できます。

ロータリークラブは、1905 年に「親睦と助けあい」から始まりました。その年の年末には「クラブは公共のために奉仕すべき」との助言があり、シカゴの公衆トイレ設置が、最初の奉仕プロジェクトとなりました。

その後、「最もよく奉仕する者が、最も多く報いられる」という考え方が提唱され、自分の利益だけでなく、事業を通じて他人の利益を優先し、高い倫理観を持って社会に役立つ仕事をするという「職業奉仕」の理念が形成されました。

みなさんの職業を通じて、「社会に良い影響を与えて続けているのか?」を今一度、考えていただければ幸いです。

本日の卓話は、オーランドで開催されました国際会議に出席されました若林ガバナーエレクトから、最新の「国際ロータリーの目指す姿」お話しいただけます。次年度のクラブ活動方針・運営の指標となりますので、大変楽しみにしております。最後に本日の例会が、ご出席の皆様の新たな発見や気づきの例会になることを願っております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。



## 出席報告

山田幸保君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
43/48 81.25%	36/48 75%

(1)欠席者 (事前連絡とメークアップをどうぞ)

○飯田君○川口君○鈴木健君○早川君

伊藤彰君 増田君

(1)メークアップ者

富澤賢一君(地区) 富澤静雄君(藤枝)

中山恵喜君(藤枝) 早川清人君(サッカー)

若林秀典君(地区) 渡邊博文君(サッカー)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
49	47	2	14

パーフェクト例会数: 😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

## スマイルBOX

山田幸保君

- 無事に国際協議会を終えました。時差ボケはまだ治っていません。 若林秀典君
- ありがとう！ 富澤静雄君
- ありがとうございます。 内山淑夫君
- 結婚記念プレゼントありがとうございました 久しぶりに記念日を迎えるました。
- 1/14(記念日) 1/15(ベンツエ誕生日)。ベンツ君と一緒に記念日、誕生日を祝いました。 植田裕明君
- 結婚記念日のお祝いありがとうございます。 32年たちました。人生の半分です。 大村和宏君
- 誕生プレゼントありがとうございます。 中山恵喜君
- 誕生日プレゼントありがとうございます。 山田幸保君

スマイル累計額 588,602円

## 新会員 中村秀樹君



## 国際協議会報告

若林秀典君



1月11日(日)～15日(木)の5日間、フロリダのオランドー・ローゼン・クリーク・シングルホテルで国際協議会が開催されました。

エレクト+パートナー22名(海外旅行不慣れ組)は北海道の現ガバナーの旅行会社を使って行きました。交通トラブル等を考慮して8日(木)には羽田に前泊し、9日(金)出発となりました。

初日11日は協議会の登録、資料、翻訳機の受領、ホテルへのチェックイン等を済ませた後、協議会を通してのブリーフィングが行われ、記念写真をしてから夜の歓迎レセプションに臨むこととなりました。

2日以降の4日間は午前、午後、本会議60～75分、分科会90分の繰り返しで都合7回の本会議、9回の分科会が行われ、18:30～21:00は夕食会となっています。



### RI会長エレクトのメッセージ

次年度の会長はナイジェリアのオラインカ・ハキーム・ババロアさんです。

会長エレクトは既にインカ会長(ニックネーム?)で呼ばれていました。

会長エレクトのメッセージは「CREATE LASTING IMPACT・持続可能なインパクトを生み出そう」です。これは一時的な成果や単発の事業に終わるのではなく、地域社会に長く良い影響を与える続ける活動を行うこと、そして年度が変わっても受け継がれ、発展していくロータリー活動を目指すことを意味しています。

会長エレクトは特に

- ・事業や奉仕活動における「継続性」
- ・クラブや地区の取り組みが次年度以降も活かされる仕組み作り
- ・会員一人ひとりの関りが長期的な変化につながること

の重要性を繰り返し強調されました。

つながりが信頼を生み、歓迎の姿勢が参加を生み、行動の変化を生むのです。

ロータリーの価値はそこで生まれる「持続可能なインパクト」にあるのでしょうか。

インカ会長エレクトの発信はまさにその一点に集約されていると感じました。

変化とインパクトは異なる。変化は始まりであり、インパクトは持続しなければならないものであるという話が印象的でした。

最初の本会議にこのメッセージが発表され、これ以降はこのメッセージに則した内容で分科会が進められていた感じがします。

とにかく自由な時間があまりなく、時差ボケも手伝って頭の中が整理されてない部分がありました。テキストの内容も事前に読んでいったのですがセッションが始まると役には立ったと言えませんでした。

終わってみればあつという間でしたが時間もタイトで内容もハードでしたので時差ボケもあり、肉体的にも精神的にもとにかく疲れました。



## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
1/30(金) 第 1625 回	早朝例会	
2/6(金) 第 1626 回	会員卓話	理事会
2/20(金) 第 1627 回	会員卓話	小杉苑
3/6(金) 第 1628 回	IGM 報告	理事会

### 今週の一言

鈴木照竟君



子供の頃から室内に扁額の書がいくつか飾られていますが、多くが行書体で書かれているので全く読む事も出来ず、興味もありませんでした。そんな中で字のような絵のような不思議な扁額あり、歴史を少々学んだ小学生の時には「和同開珎」や「寛永通宝」のような古錢なのかな?なんて思つたこともあります。

長いことその存在を忘れていましたが、藤枝に帰ってきて数年後、ふとそう言う事かと理解しましたが、中学の修学旅行で観ていることも思い出し、自分の無関心と無知さに恥ずかしくなりました。

「吾唯足知」

枯山水の庭園（方丈庭園）で有名な京都の竜安寺の茶室入口に手水としての蹲踞があります。徳川光圀公の寄進とされ、この文言が刻まれています。貪瞋痴の三毒のうち、「むさぼり」が最初であるように、もっと欲しいという欲望が心を曇らせてしまうものです。際限なく求め続けければ、満たされない苦しみが続き餓鬼道に落ちてしまいます。

「これだけあれば充分、あとは足りていないところへ」という知足の教えは争いを少なくし、健全に過ごす鍵だと思います。

おめでとうございます！



(担当/秋谷貴也君)